

岡山市協議会との連携による女性活躍推進事業【岡山市】

地域の実情と課題

- ・管理的職業従事者における女性の割合は、全国平均より低く、女性の活躍が進んでいない。
- ・市民アンケートによれば、女性が出産・育児に際して仕事を辞めたいと思った理由について、「仕事と子育てを両立する自信がない」という意識の割合が高く、また、女性が働き続けるために必要なものとして、「両立支援制度」、「配偶者・パートナーの理解と協力」が挙げられ、法や制度の充実とともに、働き方、休み方に対する意識の変革が必要。

事業の特徴

多様な主体による協議会の連携体制により、地域の実情に応じた女性活躍推進の取組について検討し、地域のニーズに基づいた提案を行うことができた。

女性活躍プログラムでは、女性社員が、管理職を目指して働く意識や必要となるスキルを学ぶとともに、上司に、女性活用の必要性について理解し、女性社員の研修の効果を高めるための講座を開催。

女性活躍の取組が進んでいない企業に対し、取組が進むきっかけとなるよう、市内の身近な企業の取組を紹介する冊子を作成し、市ホームページ掲載や、一定規模以上の企業に配布することで、広く啓発を行った。

事業の効果

協議会の構成員との連携により、地域企業へ参加を呼びかけ、幅広い企業へ働きかけることができ、参加企業の広がりに繋がった。

男性管理職セミナー、女性活躍プログラム、女性活躍推進プログラムでは、目標値どおり、またはそれ以上の参加があり、効果的な事業が実施できた。

目的・目標

＜目的＞市内経済団体等多様な主体と連携し、地域における女性活躍に向けた機運の醸成を図る

＜目標＞

- ①協議会開催2回
- ②男性管理職向けセミナー参加者25名
- ③市内企業で働く女性活躍プログラム参加者25名
- ④紹介企業5社
- ⑤女性活躍推進シンポジウム参加者300名

＜達成状況＞

- ①3回
- ②54名
- ③26名
- ④5社
- ⑤325名



連携団体

◇岡山市女性活躍推進協議会◇

平成28年4月1日に設置し、岡山商工会議所、労働組合、市内の金融機関、女性の活躍に関する活動を行っているNPO、市内の大学、企業、労働局、県が構成員となっている。

平成28年度は、会議を3回開催し、意見交換や事業実施の協力、事業の検証を行った。

今後の課題

岡山市は中小企業が多いという地域の特性があるため、中小企業に向けた取組を行い、同じ課題をかかえる中小企業の成功事例や具体的な工夫などを情報発信していく必要がある。

また、経営戦略としてのワーク・ライフ・バランスや女性活躍のメリットを実感してもらい、女性活躍の取組を推進するよう企業に働きかけていく必要がある。

事業の概要

協議会開催



岡山商工会議所、労働組合、市内の金融機関、女性の活躍に関する活動を行っているNPO、市内の大学、企業、労働局、県が構成員となる協議会を平成28年4月1日に設置し3回の会議を開催した。

地域の実情に応じた女性活躍推進の取組を検討し、事業実施後は効果の検証を行った。

女性の活躍を進めるための情報発信事業 (シンポジウム及び座談会)

市民・市内企業における女性活躍の機運を醸成するため、企業における女性活躍の重要性について「企業での女性の活躍事例、女性活躍は企業の経営面からのメリットとなること等」をテーマとするシンポジウム及び仕事と家庭の両立に関する工夫や悩み等身大の姿を話し合う座談会を開催した。



企業紹介事業

市内企業の女性活躍推進の取組を紹介する冊子を作成し、市ホームページの掲載、企業等への配布により、企業の取組を促進する啓発・広報を行った。



男性管理職向けセミナー開催事業

経営トップや管理職が仕事と生活の調和におけるリーダーシップを発揮し、働き方を改革するためのセミナーを実施した。



市内企業で働く女性活躍プログラム

管理職を目指して働く意識や必要となるスキルを学ぶとともに、参加者間の異業種交流を実施した。あわせて、女性社員の上司等の講座も開催し、双方に対し直接的に働きかけを行った。